

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070101684		
法人名	医療法人みずゞ会		
事業所名	グループホーム星のさと		
所在地	長野県長野市篠ノ井小松原2361番地		
自己評価作成日	平成 24年 8月 20日	評価結果市町村受理日	平成 24年 10月 10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>周囲はりんご畑に囲まれ、様々な花も咲き、季節の移り変わりを身近に感じる自然豊かな環境である。ホームは平屋建ての2ユニットでバリアフリーになっており、広々としていて明るく、写真などが飾られてあたたかみのある雰囲気である。開設当初からのスプリンクラー設置や毎月の消防訓練により災害対策の意識を高めている。食事は自然農法で作られたお米・管理栄養士がたてたバランスの良い食事を食べている。外出行事などに出かけて、家族・スタッフと一緒に楽しい時間を過ごしたり、ホームで飼っている犬とのふれあいがいい刺激や和みとなっている。スタッフは、スタッフミーティングや研修会への参加・カンファレンスを行い、質の高いサービス提供に取り組んでおり、同一法人の医療機関等と連携を図りながら、重度化や看取りの支援にも取り組んでいる。又、「一人一人に一人一人の介護を」の理念の実現に向け、入居者一人ひとりが思い思いに過ごし、「つながり」の実感を大切に、心豊かに暮らせるよう支援している。</p>
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限公司		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 24年 8月 30日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>オリンピック道路、通称長野南バイパスの小松原トンネル東の信号を左折し5分ほど県道を走ると色づき始めたりんご畑に囲まれるように複合施設の大きな建物がある。その中に10年目を迎えた当事業所がある。「一人一人に一人一人の介護を」という複合施設全体の理念を共有し、日々実践につなげている。何気ない本人の言動を見てその真意を探る職員の感は並外れている。例えば失語症の利用者が帽子をかぶり外に出て何時も同じ方向を眺めたり歩いていた場合に職員は本人が見つめる先には何が見えるのか、何が望みか「ひもとぎ」を始め、本人の願いを叶えている。防災設備については開設当初から整備され利用者の安全に万全な策が講じられているが更に利用者を安全に避難させたいと毎月、自主訓練を行っている。その方法は昼夜に関係なく、予告なしで突然に非常ベルが鳴り響き、実践しながらの避難を利用者と共に繰り返し、いざと言う時に確実に避難誘導が出来るよう取り組んでいる。介護計画に関しては利用者家族に分かり易く説明し、話し合いに参加していることもあり、ほぼ全家族が介護計画の意義を理解し、高い関心を示している。利用者家族はこのホームを利用できて良かったと喜び、職員はここで働けて幸せと感じている。誰も心のホッとする、居心地の良いホームである。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な 支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めて いることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の 人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者と のつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や 応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足し ていると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむ ね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない